



**欧州市場向け名城大学ブランド清酒「はなのしろ 純米大吟醸」と
「はなのしろ 純米古酒」を商品化、日本国内先行限定販売
マンガラベルのオリジナルキャラクターは京都精華大学とコラボでデザイン**

名城大学は、あいち産業科学技術総合センター（食品工業センター）の協力を得て、学生が企画する「欧州市場向け日本酒」を開発しました。海外輸出に先駆け、今回、国内販売を開始します。

今回販売を開始するのは、名城大農学部や学生サークル「日本酒研究会」などの学生が企画した「はなのしろ 純米大吟醸」と「はなのしろ 純米古酒」の2種類を愛知県東浦町の酒蔵「原田酒造」の協力を得て製品化に成功しました。

「はなのしろ 純米大吟醸」は、県が開発した吟醸用酵母と県の酒米「夢吟香」を組み合わせ、米のうま味がしっかりありながら香り高く淡麗な飲み口の本格派の純米大吟醸酒となりました。一方、「はなのしろ 純米古酒」は、2013年に商品化したカーネーション酵母をつかった大学ブランド純米酒「^{はなのしろ}華名城」の三年古酒バージョン。琥珀色に変化し、深みのある熟成香をもちます。酸味、甘み、旨味のバランスがとれ、貴醸酒を思わせる味わいがあります。

輸出先として計画しているフランスは、「クールジャパン」の主要コンテンツのひとつである日本アニメの人気も高く、特に拠点として考えているアルザス地方は、欧州各国からの旅行客も多く、日本アニメ文化の情報発信地としても認知されています。こうした理由もあり、京都精華大学マンガ学部（京都市）の協力を得て、今回の2種類の日本酒のイメージを擬人化しオリジナルキャラクターとしてラベルデザインに採用しました。酒の特徴をとらえた擬人化キャラクター「^{ともえ}巴（純米大吟醸用）」と「^{つむぎ}紬（純米古酒用）」は名城大学の日本酒研究会の学生が基本コンセプトを作り、作画は京都精華大学マンガ学部の3年生の清野香菜子（せいの・かなこ）さんに依頼しました。

昨年9月には、マンガラベルを貼った2種類の試作品を携えてフランスのアルザス地方での試飲会を開催したところ、現地の人にも高い評価を得ることができ、輸出に向けて一段とはずみをつけることができました。新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、輸出に関する取り組みを再開するまでの間、学生の学びの取り組みを止めないためにも、先行して国内販売を開始することに致しました。

今回の日本酒は、名城大学の事業部門である有限会社名城大学サービスから販売されます。「はなのしろ 純米大吟醸」および「はなのしろ 純米古酒」は、500 ml入りで限定各100本、価格は各3,000円（税別）です。

本件問い合わせ先：

（ボトルの写真提供など） 渉外部広報課 052-838-2006 kouhou@ccmails.meijo-u.ac.jp

（研究に関すること） 農学部教授 加藤雅士 mkato@meijo-u.ac.jp

（販売関係） 名城大学サービス 052-837-1511

ホームページ：<https://www.meijo-mus.co.jp/product/index.html>



擬人化キャラクター「巴^{ともえ}（純米大吟醸用）」と「紬^{つむぎ}（純米古酒用）」。キャラクターのコンセプトを名城大学の学生が考え、京都精華大学マンガ学部の3年生の清野香菜子さんが作画



昨年9月にフランスのコルマル（アルザス地方の都市）で行われた試飲会の様子。どのような食べ物と合うかのペアリングも調査した（法被姿は日本酒研究会の学生）



大学ブランド酒「はなのしろ 純米大吟醸」(右)と「はなのしろ 純米古酒」

※この写真は提供します。件名に「会社名・はなのしろ写真」と書いて渉外部広報課 (kouhou@ccmails.meijo-u.ac.jp) へメールでご請求ください。